国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和元年 12 月 11 日

静岡県中部地域道路啓開検討会 事務局
［国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所
静岡県経営管理部中部地域局］

南海トラフ巨大地震等に備え、緊急車両の通行を確保するための「道路啓開」実働訓練を実施します

1. 概要

南海トラフ沿いの地域においては、マグニチュード8～9クラスの地震が今後 30 年以内に発生する確率は 70～80％（平成 31 年1月1日現在）とされており、大規模地震発生の切迫性が指摘されています。

このため、国土交通省中部地方整備局と静岡県中部地域の自治体、警察、建設関係業界等はこれまで、道路上に放置された車両やガレキ等の障害物を早急に除去し、緊急車両の通行を確保することで、災害時における救援･救護の要となる道路啓開（どうろけいかい）のルート設定や道路啓開計画の策定に取り組んできたところです。

この度、これまでに策定した道路啓開計画について、実際に手順を実施しての確認を通じて初動期の流れを検証し、実効性の向上を図ることを目的とする実動訓練を実施します。

なお、静岡建設業協会、清水建設業協会、静岡県解体工事業協会、日本建設機械レンタル協会静岡支部、静岡県石油商業組合は、災害時における資機材や石油類燃料の円滑な確保のために協定を締結しており、今回訓練の中でもその手順等を確認します。

2. 実施日時及び場所

1）日　時　令和元年 12 月 18 日（水）　13:00～16:00
2）場　所　榛原郡吉田町県営吉田公園隣接地（別紙①のとおり）

3. 訓練内容

通行規制、UAV（ドローン）調査、緊急パトロール、災害対策基本法 76 条区間指定、車両排除、橋梁段差解消、電柱撤去、燃料供給、土砂撤去、人命救助･搬送、瓦礫撤去、緊急車両通行等

4. 参加機関

静岡国道事務所、静岡県、吉田町、牧之原警察署、静岡市消防局、島田建設業協会、日本建設機械レンタル協会、静岡県石油商業組合、静岡県解体工事業協会、静岡県建設コンサルタンツ協会、吉田町災害復旧支援会、中部電力株式会社、株式会社 NTT フィールドテクノ

5. 配布先

静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ

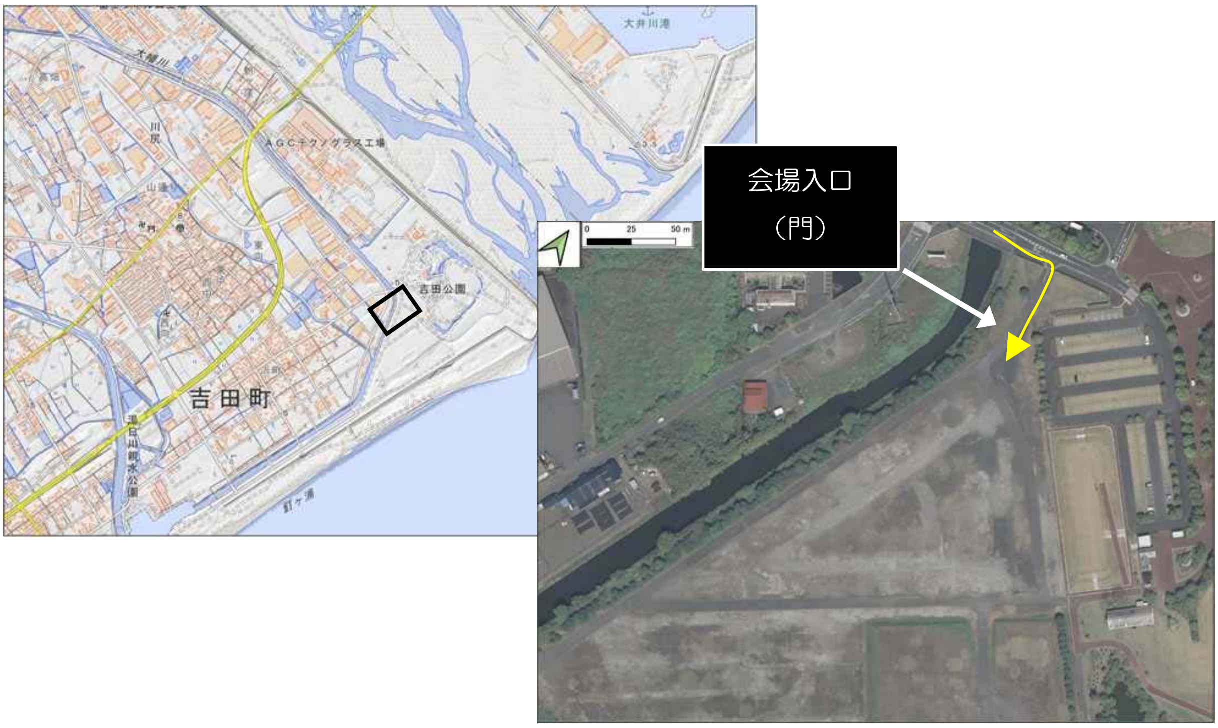
6. 問い合わせ先

国土交通省　中部地方整備局　静岡国道事務所　総括保全対策官　太田（おおた）　聡（さとし）
電話（054）－250－8906　　ファックス（054）－250－8911
静岡県経営管理部中部地域局　地域課　主幹　大嶽（おおたけ）　光司（こうじ）
電話（054）－644－9168　　ファックス（054）－644－9108

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル　#9910　（通話料無料・２４時間受付）

【別　紙①】

訓練実施場所及び訓練イメージ



■訓練会場　：　榛原郡吉田町県営吉田公園隣接地

≪訓練イメージ≫

今回の訓練では道路管理者を始め、警察や建設業者等の業団体、電力会社等の民間企業が連携して、道路啓開実働訓練を実施します。

【別　紙②】

静岡県中部地域道路啓開検討会とは

１．概要

静岡県中部地域の特性を考慮した啓開ルート、情報収集や関係機関の連絡体制などを含む、発災初期（72 時間程度）における道路啓開オペレーションについて議論し、道路啓開に関連する認識の共有促進を図ることを目的として設立した検討会。

＜検討内容の一例＞

■ 地域の特性を考慮した啓開ルート、情報収集や関係機関の連絡、体制等について協議
■ 具体的な道路啓開方針、各機関の行動について協議し、計画を策定
■ 道路啓開に関する諸問題を協議、解決に向けた具体的な計画を策定

２．構成機関

＜静岡県中部地域道路啓開検討会＞

国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、自衛隊、警察、消防、建設業協会、レンタル協会、石油商業組合、解体工事業協会、建設コンサルタンツ協会、高速道路会社、電力会社、通信会社

＜事務局＞

国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所、静岡県経営管理部中部地域局